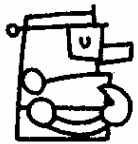


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
植物の体とはたらき / 理解シート

## ジャガイモは、なぜ、根のところに実がなるの



ジャガイモのいもは、実ではないのさ。実は、花がさいた後に、花の部分にできるものさ。

### ジャガイモには、ふつう、実はできない

ジャガイモのいものどこを切っても、種は見つかりません。いもは、実ではないのです。ふつうは、花がさき、花粉がめしべにくっついて種ができ、実ができます。長い間、品種改良を重ねてきたため、ジャガイモの花には、あまり実はならないのです（野生のジャガイモには、実がなるものが多いのです）。

ジャガイモのいもには、くぼみがあちこちにあり、春先になると、このくぼみから、芽が出てきます。このいも（たねいもという）を、そのまま土に植えると、芽から新しいジャガイモが育ち、たくさんの新しいもがとれます。種がなくても、ジャガイモはふやしていけるのです。

### ジャガイモのいもは、くきが変化したもの

たねいもを植えて3か月後ぐらいに、根もとの土をほって観察すると、たねいもはほとんど皮だけになり、細かい根がたくさん出ている中に混じって、新しいもがぶら下がっています。新しいもには、デンプンがたくさん入っています。

このデンプンは、ジャガイモの葉の中で、日光の手助けを受けて、根から吸い上げた水と、空気中の二酸化炭素を材料につくられたものです。葉でできたデンプンは、水にとける形に変わって、植物の体内を運ばれ、くきや葉の成長などに使われたり、土の中のいもにたくわえられます。

ジャガイモのいもは、くきが変化したのですが、サツマイモは、くきではなく、根に栄養がたくわえられたものです。



ラッカセイは、花がさいた後で、花の部分が土にもぐって種ができるから、いもとちがうのさ。